

## 令和5年度 第1回嘉麻市地域公共交通会議：要録

1 日 時 令和5年5月25日（木）午前10時～

2 場 所 嘉麻市役所5階 5A会議室

3 出席者

所 属	氏 名	出 欠
元福岡大学工学部社会デザイン工学科教授	井上 信昭 委員	出
西鉄バス筑豊株式会社 取締役運行部長	浜田 和仁 委員	出
嘉麻市 副市長	山田 卓嗣 委員	出
福岡県筑豊地区タクシー協会 嘉飯山部会長	野上 英敏 委員	欠
一般社団法人福岡県バス協会 専務理事	中川原 達也 委員	欠
国土交通省九州運輸局福岡運輸支局 支局長	傅 勝博 委員 (代理) 井料 主席 運輸企画専門官	代理出席 (井料首席 運輸企画専門官)
福岡県交通運輸産業労働組合協議会 西鉄グループバス労働組合副執行委員長	熊本 正志 委員	出
福岡県飯塚県土整備事務所 地域整備企画監	山本 明 委員	出
福岡県嘉麻警察署交通課 課長	山路 秀美 委員	代理出席 (荒島係長)
嘉麻市碓井地区行政区長会 飯田行政区長	長谷川 修一 委員	出
嘉麻市山田地区行政区長会 会長 及び神幸行政区長	村上 曙生 委員	出
嘉麻市嘉穂地区行政区長会 会長 及び貞月行政区長	縄田 洋明 委員	出
嘉麻市稲築地区行政区長会 才田日吉行政区長	平井 由子 委員	出
公募委員	平尾 節子 委員	欠
公募委員	池田 幸子 委員	出
嘉麻市観光まちづくり協会 副会長	永光 祐子 委員	出
嘉麻市教育委員会 教育委員	佐竹 正利 委員	出

オブザーバー

福岡県・企画地域振興部交通政策課 交通総務係	内田 康太主任主事	出
---------------------------	-----------	---

見学

桂川町企画財政課	小平 知仁課長	出
桂川町企画財政課企画広報係	松尾 亮一係長	出

(事務局)

交通政策課

交通政策課長	柴田 英樹	出
交通政策係長	高木 雅子	出
交通政策係	村上 一馬	出
交通政策係	竹原 優	出
交通政策係	村尾 幸雄	欠

1 委嘱書交付

机上にて委嘱書交付

2 会長あいさつ

会長あいさつ

3 報告

(1) 公共交通に関する報告事項について・・・資料 1

《主な質疑及び意見等》

(委員) 市バスの利用状況について、嘉穂線は前年度と比べれば利用者数は増えているが、それでも月 10 人未満と極端に少ない。その点について、事務局としてはどのように考え、対策を講じようとしているのか。

(事務局) まず経過として、以前は嘉穂地区には嘉穂東西線があったが利用者数は少なく、路線があっても全域を網羅できているわけではなかった。

その対策として令和 2 年度からデマンド運行型バスを拡充し嘉穂線の見直しを行ったため、現在は嘉穂地区のデマンド運行型バスの利用者数が多くなっている。

現在の嘉穂線は大隈町周辺を運行しており、当初の想定ではデマンド運行型バスで大隈町周辺まで降りてきて、大隈町周辺を市バスで移動できるように構築していたが、実際にはそうになっていない部分がある。

また、利用の促進のため碓井地区に近いドラックコーエーまでの延伸や令和 4 年度からは 1 便減便する等の対策を取っているが、将来的にはデマンド運行型バスを主とする形態に代えていきたい。

(委員) バスステーションのテナント利用者数について、令和 4 年度は前年度と比較して半分程度になっているが、テナント利用のPRはどのようにしているのか。

(事務局) 品物がフルーツサンドでブームがある一過性の物ではあるが、フルーツサンド以外の商品も開発しながら営業を続けている。広報について市では市 HP や広報誌、事業者はインスタグラム等を展開させ広くPRを行っている。

(委員) 嘉穂線については費用対効果を考えて今後の検討を。

(会長) 嘉穂線については以前から問題だと思っていた。将来的にという話であったが、近いうちにといいことで考えてもらいたい。

- (委員) 市バスの利用状況について、利用者数増加の理由に、稲築桂川線、デマンド運行型バスの利用が増えたとあるが、具体的な要因はあるか。
- (事務局) 稲築桂川線は路線を組む段階から、稲築志耕館高校、嘉穂総合高校を經由するため、通学利用の増加を見込んでいたが、学校関係に周知を図ることで効果がだんだん出てきたのではないかと考えている。
- また、下鴨生駅～桂川駅の区間を運行するため他地区からも通学での利用がある。
- デマンド運行型バスは枝線路線がデマンド運行型バスに移行してきたのではないかと考えている。デマンド利用者に向けたアンケートではデマンド運行型バスについて高評価を頂いており、一度使ってもらうとリピートに繋がっているのではないかと考えている。
- (会長) バスステーションの利用者数について、バス利用での利用者数が若干下がっている。重く受け止めなければならない。

#### 4 議 事

(1) 令和4年度歳入歳出決算について・・・資料2

(委員) その他質疑、意見等なし。

(2) 令和5年度嘉麻市地域公共交通会議予算案について・・・資料3

(委員) 4年度の決算書であった余剰金58,000円は令和5年度に繰り越されないのか。

(事務局) 現金管理の安全性確保のため、できるだけ通帳の中にお金を残したくないと考えている。可能な限り年度内で予算を執行し、新年度で必要になる現金については市からの負担金で予算措置を行いたい。

(3) 令和6年度地域公共交通計画認定申請について・・・資料4

(会長) 別紙1枚目の事業の目標について、交通計画のとおり収支率20%以上とあるが、現状数値はいくらなのか。

(事務局) 令和4年度(4月～3月)で、稲築桂川線が約25%、市内循環線東回りが約24%となっている。

(会長) 交通計画では全路線合わせた収支率は令和3年度は約17%となっており、路線によって収支の差があることがわかる。

(事務局) 令和4年度の全体の収支率は約19%となっている。

#### 5 その他

(委員) コミバス、デマンドバスを含めた運行経費で、市が単独で支出している費用はいくらか。また過去3年間の推移はどうなっているか。

(事務局) 過去の数値が手元にないためわかる範囲ではあるが、直近の令和4年度では、運行経費は約1億1,000万円、収入については運賃収入と補助金を含めて約2,400万円となっている。

(委員) 概ね8,000万円市が支出しているということで、過去3年間と比較すると市の負担は増えているのか減っているのか。

(事務局) 経費については特段伸びていないが、収入は増えているため市の持

ち出しについては減っているのではないかと考えている。  
(会 長) 次回の会議で再度確認した内容を報告していただきたい。

<メ モ>